

(男) (女) 走幅跳・三段跳 予選 (組)・決勝 記録表 A

抗議中の競技の記入例 ① 競技終了時 (これをコピーする)

期日 年 月 日 (曜) 開始時刻 終了時刻

陸協名 コード 競技会名 ① 便宜上、必要な欄のみ記入して可 コード

主催団体名 競技場名 コード

審判長

J T O

記録主任

記録担当審判員 R

試技順	ナンバー	競技者名(生年)	都道府県名 所属・学年	試技			3回の 最高記録	トップ8 の 試技順	試技			最高記録	順位	得点	備考
				1	2	3			4	5	6				
1		A					662+	9				665+	1		
2		B					598+	4				599+	7		
3		C					620+	6				635+	3		
4		D					581+	3				581+	9		
5		E					538+					538+			
6		F					632+	7				632+	4		
7		G					553+					553+			
8	456	H					547+					612+	6		4回目よりP
9		I					(606)+	1				530+			
10		J					611+	5				625+	5		
11		K					565+	2				586+	8		
12							645+	8				655+	2		
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															
21															
22															
23															
24															

審判長記入欄

注1: 試技結果が次の場合、該当する日本語表記、または略号を記入欄に記入する。(無効試技...×、失格...DQ、欠場...DNS、パス...、試技放棄...r、記録なし...NM)
 注2: 日本新記録、大会新記録などは備考欄を利用して記入する(日本新記録・日本タイ記録は、3名のフィールド審判員が計測する必要がある。(CR31.17.1))
 注3: (生年)は生まれた年(西暦)の下2桁を記入する。例) 2005年生まれ → (05) 注4: 学年は中高一貫校及びクラブチームの場合、高校生は H1~3 (High school)、中学生は J1~3 (Junior high school) で記入する。
 注5: TR8.5を適用している競技会で、抗議中の競技があった場合は、抗議の対象になった試技の記録には()をつけ、備考欄にPを記入する(例: 2回目に抗議があった場合は「3回目よりP」)。 競技終了後、記録担当者が必要事項を記入したものをコピーをする。
 記録主任または審判長がコピーしたものに必要があれば赤字で記録・順位等の訂正をし、審判長は審判長記入欄に裁定結果を赤字で記入する。 記録主任・審判長は赤字でサインの上、原本と一緒に保管する。

(男) (女) (走幅跳)・三段跳 予選 (組)・決勝 記録表 A

P

抗議中の競技の記入例 (2) 裁定の結果有効試技となった場合の記入例 (コピーに赤字で記入)

期日 年 月 日 (曜) 開始時刻 終了時刻

審判長 ~~X~~
 J T O
 記録主任 ~~X~~
 記録担当審判員 R

陸協名 コード 競技会名 (注) 便宜上、必要は欄のみ記入しては可コード
 主催団体名 競技場名 コード

試技順	ナンバー	競技者名(生年)	都道府県名 所属・学年	試技			3回の 最高記録	トップ8 の 試技順	試技			最高記録	順位	得点	備考
				1	2	3			4	5	6				
1		A		+	+	+	662	9	+	+	665	665	1		
2		B		+	+	+	598	4	+	599	+	599	7		
3		C		+	+	+	620	6	+	635	+	635	3		
4		D		+	+	+	581	3	+	+	+	581	9		
5		E		+	+	+	538		+	+	+	538			
6		F		+	+	+	632	7	+	+	+	632	4		
7		G		+	+	+	553		+	+	+	553			
8	456	H		+	+	(606)	(606)	1	612	520	526	612	6		4回目よりP
9		I		+	+	+	611	5	+	625	+	625	5		
10		J		+	+	+	565	2	+	+	586	586	8		
11		K		+	+	+	645	8	655	+	+	655	2		
12				+	+	+			+	+	+				
13				+	+	+			+	+	+				
14				+	+	+			+	+	+				
15				+	+	+			+	+	+				
16				+	+	+			+	+	+				
17				+	+	+			+	+	+				
18				+	+	+			+	+	+				
19				+	+	+			+	+	+				
20				+	+	+			+	+	+				
21				+	+	+			+	+	+				
22				+	+	+			+	+	+				
23				+	+	+			+	+	+				
24				+	+	+			+	+	+				

審判長記入欄 456 H 3回目 6m06 有効試技とする ←赤字で記入

注1: 試技結果が次の場合、該当する日本語表記、または略号を記入欄に記入する。(無効試技…×、失格…DQ、欠場…DNS、ハス…一、試技放棄…r、記録なし…NM)
 注2: 日本新記録、大会新記録などは備考欄を利用して記入する(日本新記録・日本タイ記録は、3名のフィールド審判員が計測する必要がある。(CR31.17.1))
 注3: (生年)は生まれた年(西暦)の下2桁を記入する。(例) 2005年生まれ → (05)
 注4: 学年は中高一貫校及びクラブチームの場合、高校生は H1~3 (High school)、中学生は J1~3 (Junior high school) で記入する。
 注5: TR8.5を適用している競技会で、抗議中の競技があった場合は、抗議の対象になった試技の記録には()をつけ、備考欄にPを記入する(例: 2回目に抗議があった場合は「3回目よりP」)。競技終了後、記録担当者が必要事項を記入したものをコピーをする。記録主任または審判長がコピーしたものに必要があれば赤字で記録・順位等の訂正をし、審判長は審判長記入欄に裁定結果を赤字で記入する。記録主任・審判長は赤字でサインの上、原本と一緒に保管する。

(男) (女) 走幅跳・三段跳 予選 (組) 決勝 記録表 A

P _____

抗議中の競技の記入例
期 日 年 月 日 (曜)

③ 裁定の結果 無効試技となつた場合の記入例 (コピーに赤字で記入)

審判長 乙
J T O 赤字でサイン
記録主任 X
記録担当審判員 R

陸協名 _____ コード _____ 競技会名 (注) 便宜上、必要は欄の記入は可 _____ コード _____

主催団体名 _____ 競技場名 _____ コード _____

試技順	ナンバー	競技者名(生年)	都道府県名 所 属 ・ 学 年	試 技			3 回 の 最 高 記 録	トップ8 の 試 技 順	試 技			最 高 記 録	順 位	得 点	備 考
				1	2	3			4	5	6				
1		A		+	+	+	662	9	+	+	665	665	1		
2		B		+	+	+	598	4	+	599	+	599	67		
3		C		+	+	+	620	6	+	635	+	635	3		
4		D		+	+	+	581	3	+	+	+	581	89		
5		E		+	+	+	538		+	+	+	538			
6		F		+	+	+	632	7	+	+	+	632	4		
7		G		+	+	+	553		+	+	+	553			
8	456	H		+	+	+	547	1	+	570	+	526	106		4回目よりP
9		I		+	+	+	611	5	+	625	+	625	5		
10		J		+	+	+	565	2	+	+	586	586	78		
11		K		+	+	+	645	8	+	655	+	655	2		
12				+	+	+			+	+	+				
13				+	+	+			+	+	+				
14				+	+	+			+	+	+				
15				+	+	+			+	+	+				
16				+	+	+			+	+	+				
17				+	+	+			+	+	+				
18				+	+	+			+	+	+				
19				+	+	+			+	+	+				
20				+	+	+			+	+	+				
21				+	+	+			+	+	+				
22				+	+	+			+	+	+				
23				+	+	+			+	+	+				
24				+	+	+			+	+	+				

審判長記入欄 456 H 3回目を無効試技とし、記録と順位を訂正をした ← 赤字で記入

注1: 試技結果が次の場合、該当する日本語表記、または略号を記入欄に記入する。(無効試技…×、失格…DQ、欠場…DNS、パス…—、試技放棄…r、記録なし…NM)
 注2: 日本新記録、大会新記録などは備考欄を利用して記入する(日本新記録・日本タイ記録は、3名のフィールド審判員が計測する必要がある。(CR31.17.1))
 注3: (生年)は生まれた年(西暦)の下2桁を記入する。例) 2005年生まれ → (05) 注4: 学年は中高一貫校及びクラブチームの場合、高校生は H1~3 (High school)、中学生は J1~3 (Junior high school) で記入する。
 注5: TRS.5を適用している競技会で、抗議中の競技があった場合は、抗議の対象になった試技の記録には()をつけ、備考欄にPを記入する(例:2回目に抗議があった場合は「2回目よりP」)。競技終了後、記録担当者が必要事項を記入したものをコピーをする。記録主任または審判長がコピーしたものに必要があれば赤字で記録・順位等の訂正をし、審判長は審判長記入欄に裁定結果を赤字で記入する。記録主任・審判長は赤字でサインの上、原本と一緒に保管する。